

# 富山湾漁況・海況概報

(NO.1-10)

富山県農林水産総合技術センター  
水産研究所：TEL (076) 475-0036

## 1. 令和元年12月の漁況

水産研究所が県下市場から収集した令和元年12月の県内の総漁獲量は1,410トンで前年(2,428トン)を下回り、平年(過去10年平均：2,486トン)を下回った。

## 2. 12月の主な魚種別漁況 (表1参照)

**スルメイカ**：全市場合計漁獲量は197トンで平年(過去10年平均：83トン)をかなり上回った。

市場別漁獲量は氷見89トン、新湊80トン、とやま市27トン。

**カタクチイワシ**：全市場合計漁獲量は162トンで平年(過去10年平均：147トン)をやや上回った。

市場別漁獲量は氷見118トン、新湊44トン。

**ソウダカツオ**：全市場合計漁獲量は138トンで平年(過去10年平均：836トン)をかなり下回った。

市場別漁獲量は新湊68トン、氷見41トン、とやま市20トン。

**サワラ**：全市場合計漁獲量は111トンで平年(過去10年平均：59トン)をかなり上回った。

市場別漁獲量は氷見60トン、魚津22トン、とやま市17トン。

**フクラギ**：全市場合計漁獲量は102トンで平年(過去10年平均：202トン)を下回った。

市場別漁獲量は氷見46トン、魚津23トン、新湊22トン。

**サバ**：全市場合計漁獲量は87トンで平年(過去10年平均：298トン)をかなり下回った。

市場別漁獲量は魚津41トン、氷見31トン、とやま市11トン。

**ヒラマサ**：全市場合計漁獲量は79トンで平年(過去10年平均：21トン)をかなり上回った。

市場別漁獲量は氷見24トン、新湊24トン、魚津22トン。

**カワハギ類**：主にカワハギとウマヅラハギが漁獲された。全市場合計漁獲量は71トンで平年(過去10年平均：62トン)をやや上回った。市場別漁獲量は氷見21トン、魚津21トン、新湊20トン。

**カマス**：全市場合計漁獲量は66トンで平年(過去10年平均：37トン)をかなり上回った。

市場別漁獲量は氷見54トン、新湊5トン、とやま市4トン。

表1 令和元年12月の主な魚種別漁獲量 (単位：トン)

魚種	漁法	令和元年12月				前年 月計	前月 月計	平年比 (%)
		上旬	中旬	下旬	月計			
スルメイカ	定	6	79	112	197	19	15	236
カタクチイワシ	定	31	130	1	162	184	35	111
ソウダカツオ	定	104	30	4	138	861	155	17
サワラ	定	32	25	54	111	25	56	186
フクラギ	定	35	43	24	102	34	124	50
サバ	定	15	72	0	87	440	34	29
ヒラマサ	定	27	38	14	79	46	119	385
カワハギ類	定	31	23	17	71	61	62	114
カマス	定	29	33	5	66	32	75	182
ベニズワイ	漁	17	28	20	66	72	67	76
小計		326	501	251	1,079	1,774	742	
その他		101	122	108	331	654	482	
合計		427	624	360	1,410	2,428	1,223	57

注：単位未満は四捨五入したため、月計と各旬の合計値が一致しない場合がある。

定：定置網 八：八艘張網 沖釣：沖合いかつり漁業 漁：その他漁船漁業

※ 参考	かなり上(下)回る：+51%以上	上(下)回る：+50%~+21%
	やや上(下)回る：+20%~+6%	平年並み：+5%以内

### 3. 2019年1～12月の漁況（まとめ）

#### ・漁業種類別漁獲量（図1）

水産研究所が県下市場から収集した2019年の県内総漁獲量は14,839トンで、平年（過去10年間の平均値：22,375トン）を下回った。漁業種類別では、定置網漁業が12,831トン（平年比65%）、八艘張網漁業が38トン（平年比9%）、その他漁船漁業が1,934トン（平年比88%）、採貝・採藻漁業が36トン（平年比65%）であった。

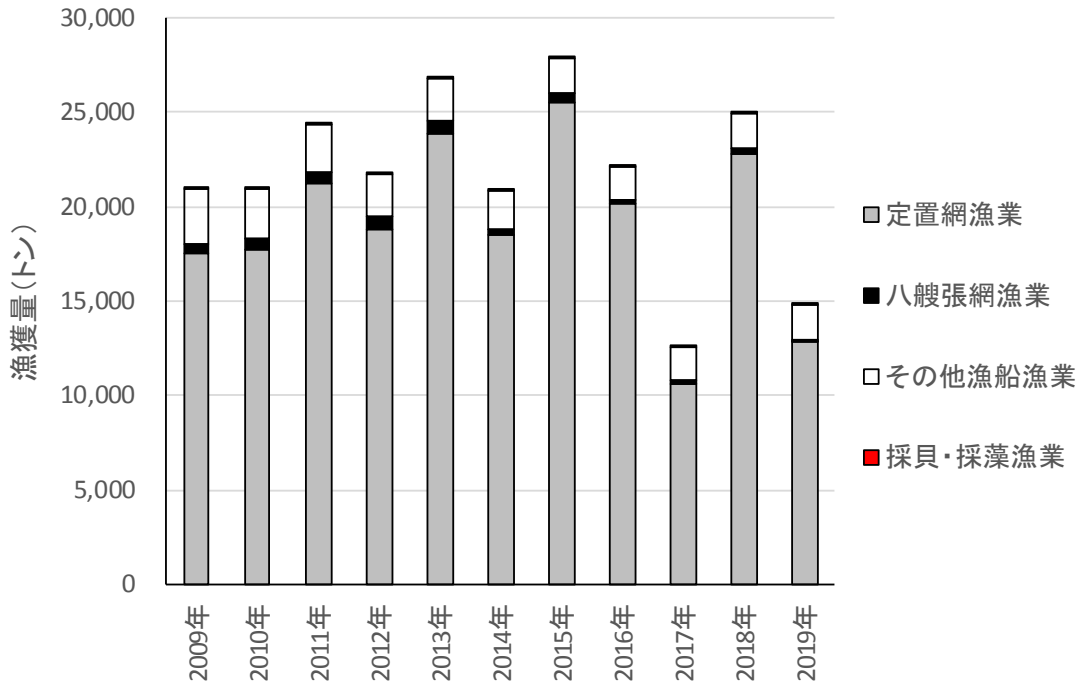


図1 漁業種類別漁獲量の推移

#### ・魚種別漁獲量（図2および表2）

主要魚種の2019年漁獲量を平年（過去10年平均）と比較し図2および表2に示した。平年を上回った主な魚種はシロエビ（同：138%）、ヒラマサ（同：391%）、ブリ（同：113%）及びウルメイワシ（同：130%）などであった。

一方、下回った主な魚種は、マイワシ（同：72%）、アジ（同：46%）、サバ（同：76%）、ツバイソ・フクラギ（同：75%）、ソウダカツオ（同：27%）、ホタルイカ（同：26%）、カマス（同：55%）及びカワハギ類（同：44%）などであった。

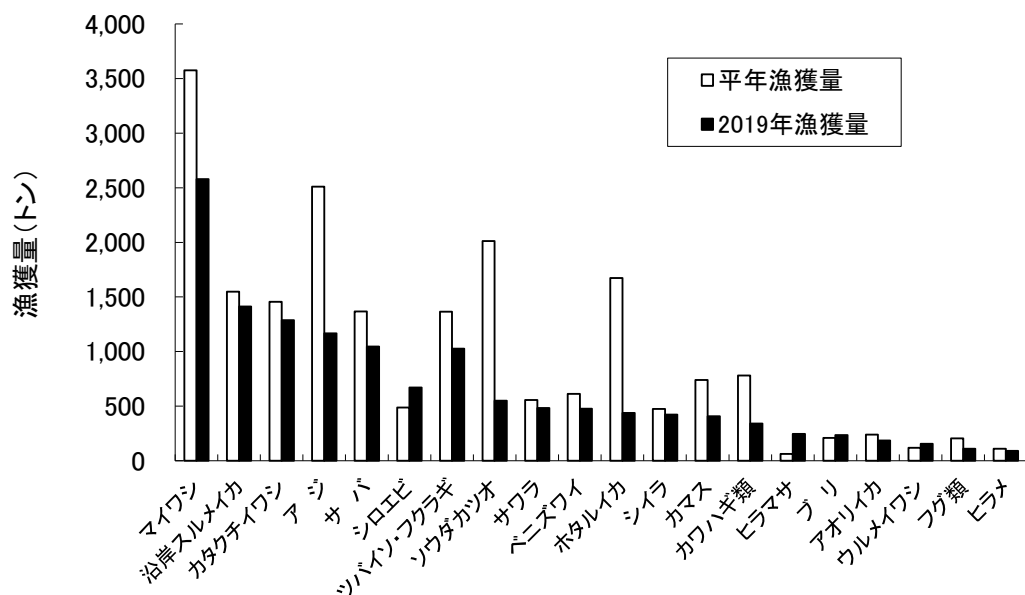


図2 魚種別漁獲量 (2019年と平年の対比)

表2 主要魚種の漁獲量(水産研究所調べ, 漁獲量t, 平年値は過去10年の平均)

魚種	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	平年	2019年	平年比
マイワシ	132	47	697	2,969	5,552	445	6,163	8,173	62	11,511	3,575	2,580	72%
沿岸スルメイカ	745	862	1,792	1,106	2,357	2,168	1,932	1,027	950	2,534	1,548	1,413	91%
カタクチイワシ	2,669	3,138	827	1,822	1,056	2,631	1,377	454	256	326	1,456	1,286	88%
アジ	3,132	2,055	4,196	2,529	3,122	2,494	2,520	2,068	1,636	1,348	2,510	1,166	46%
サバ	363	490	997	1,191	980	3,132	3,838	635	800	1,253	1,368	1,046	76%
ツバインソ・フクラギ	1,096	1,280	2,280	1,145	1,810	1,440	1,009	1,421	1,461	717	1,366	1,026	75%
シロエビ	520	595	504	455	463	452	389	440	473	571	486	670	138%
ソウダカツオ	3,425	3,618	2,936	2,908	1,906	488	2,095	744	755	1,248	2,012	550	27%
サワラ	765	581	570	363	585	332	981	799	322	269	557	482	87%
ベニズワイ	830	807	804	679	609	568	490	437	460	445	613	477	78%
ホタルイカ	2,663	1,807	2,476	946	2,474	1,717	1,476	1,194	1,299	689	1,674	437	26%
シイラ	146	477	211	445	687	270	634	848	454	561	473	422	89%
カマス	413	635	914	869	582	733	1,679	640	620	307	739	407	55%
カワハギ類	308	951	1,261	601	1,137	968	437	640	624	872	780	341	44%
ヒラマサ	18	10	23	118	220	56	69	44	11	62	63	246	391%
ブリ	99	154	544	157	373	114	174	104	144	219	208	235	113%
アオリイカ	216	448	182	313	215	276	172	215	145	197	238	185	78%
ウルメイワシ	148	93	72	82	48	196	252	169	99	30	119	155	130%
フグ類	101	202	377	432	184	162	155	107	230	98	205	110	54%
ヒラメ	128	128	128	92	100	110	130	105	90	82	109	90	82%
ホッコクアカエビ	117	94	90	78	96	88	93	87	80	84	91	86	94%
メジ・シビコ	173	158	197	109	77	104	28	66	65	47	102	85	83%
マダイ	170	113	173	73	89	129	91	87	126	123	117	71	61%
ヤリイカ	82	87	81	176	114	74	71	51	23	27	79	58	74%
タチウオ	67	32	57	37	68	29	32	45	19	34	42	39	93%
メジナ	50	47	54	46	48	76	59	57	37	35	51	34	66%
スズキ	32	55	45	36	31	26	25	28	49	41	37	33	91%
ガンド	41	16	79	80	41	72	88	161	94	48	72	25	35%
ハチメ類	37	47	67	32	43	16	40	40	25	73	42	22	53%
クロダイ	27	24	41	18	19	22	19	18	26	22	24	21	88%
ソデイカ	28	37	7	142	104	17	1	31	12	56	43	16	37%
メダイ	101	192	78	28	26	31	12	7	12	7	49	16	32%
マダラ	9	13	24	14	15	27	21	26	22	15	18	15	82%
サケ	137	77	29	30	54	127	155	43	34	15	70	12	17%
ニギス	47	33	30	43	16	21	20	11	10	7	24	10	41%
マグロ	8	6	9	19	5	4	5	3	8	5	7	6	89%
サヨリ	4	2	6	4	2	3	4	3	1	2	3	4	119%
イボダイ	72	24	3	7	7	4	0	2	1	0	12	0	2%
スケトウダラ	8	11	7	3	2	1	1	1	0	0	3	0	6%
沖合スルメイカ	10	6	2	0	7	8	0	1	0	6	4	0	0%
漁獲量総計	20,987	21,053	24,399	21,766	26,849	20,929	27,939	22,222	12,667	24,944	22,375	14,839	66%

## 4. 海洋観測結果

令和2年1月期の海洋観測を1月6～7日に実施した。今回観測した水深別の湾内17定点の平均水温、これらの平年差、評価及び前月差は表3のとおりであった。また、観測域の表層、水深50m層、100m層および200m層における水温水平分布は図3のとおりであった。

観測定点の水温の範囲は、表層で12～14℃台、50m層で13～14℃台、100m層で13～15℃台、200m層で3～5℃台であった。なお、昨年同期の湾内17定点の平均水温との差は、表層で +0.27℃、50m層で -0.03℃、100m層で +0.02℃、200m層で +1.14℃であった。

表3 富山湾の平均水温 (17定点平均)

(水温:℃)

水深(m)	0	10	20	30	50	75	100	150	200	300
水温値	14.02	14.54	14.59	14.58	14.56	14.53	14.62	12.64	5.36	1.48
平年差	+0.79	+0.83	+0.80	+0.77	+0.72	+0.72	+0.87	+0.91	-0.36	-0.12
評価	←-----→		←-----→		←-----→			←-----→		←-----→
	やや高い		かなり高い		やや高い			かなり高い		平年並み
前月差	-1.74	-2.09	-2.06	-2.09	-2.06	-2.05	-1.98	-0.12	-0.82	-0.24

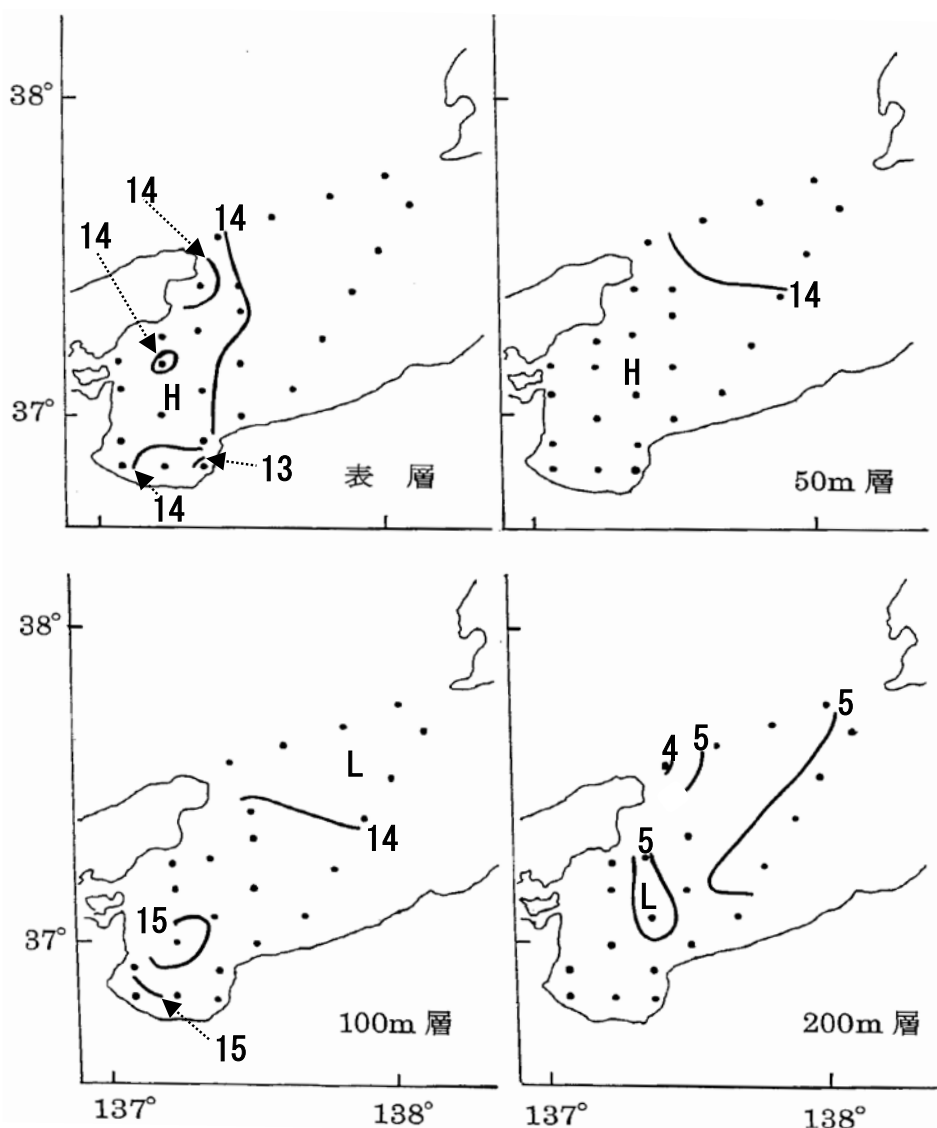
“平年並み” …約2年に1回の出現確率

“かなり高(低)い” …約10年に1回の出現確率

“やや高(低)い” …約4年に1回の出現確率

“はなはだ高(低)い” …約20年以上に1回の出現確率

図3 水温水平分布



## 5. 2019年の富山湾の水温(まとめ)

2019年1月から12月の富山湾の表層、水深50m層、100m層および200m層の水温(湾内17定点の平均値)の推移を図4に、これらの水温の平年値(過去30年間の平均値)との差を図5に示した。

1月から12月の表層の水温は10.44℃(3月)~28.51℃(8月)で、平年差は-0.99℃(12月)~+1.59℃(8月)であった。50m層の水温は11.10℃(4月)~22.54℃(9月)で、平年差は-0.57℃(12月)~+1.55℃(6月)であった。100m層の水温は11.18℃(4月)~16.60℃(12月)で、平年差は-1.12℃(7月、11月)~+1.41℃(6月)であった。200m層の水温は4.22℃(1月)~8.34℃(6月)で、平年差は-2.55℃(7月)~+2.60℃(11月)であった。

50、100mの水温は、1月から8月まで概ね高めで、3、4月には100mではなはだ高めであった。9月以降、50m、100mは平年並み~やや低かった。0mは1月から11月までは平年並み~やや高かったが、12月はかなり低かった。

200mの水温はかなり低め~はなはだ高めで推移し、11月にはなはだ高かった。

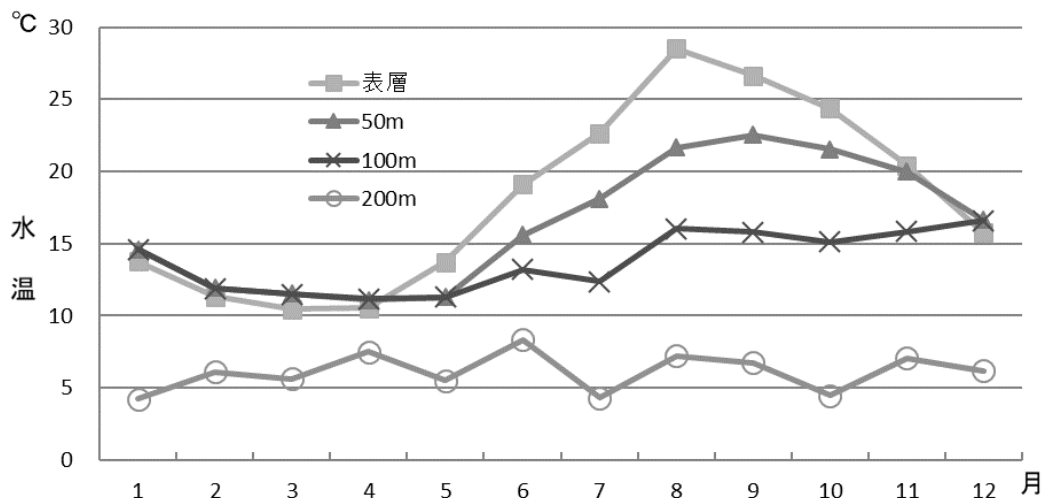


図4 2019年における富山湾周辺17定点平均水温の推移

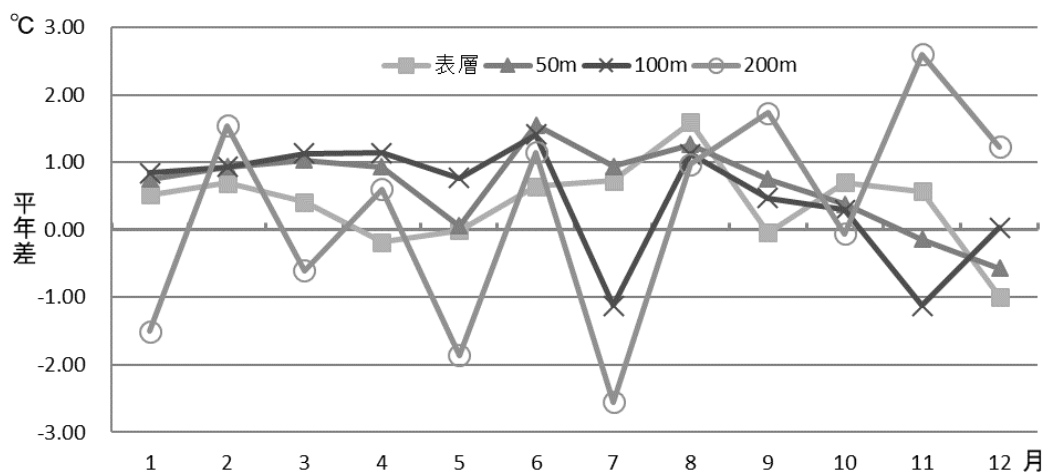


図5 2019年における富山湾周辺17定点平均水温の平年差の推移